2026年度

JICA中国
国際理解教育・開発教育プログラム

国際協力とSDGs（持続可能な開発目標）

ESD（持続可能な開発のための教育）

キャリア教育

グローバル教育

平和教育

人権教育

総合的な学習（探究）の時間

道徳

地理総合

独立行政法人 国際協力機構 中国センター

〒739-0046　広島県東広島市鏡山3-3-1

TEL.082-421-6305　FAX.082-420-8082　E-mail：jicacice@jica.go.jp

JICA中国の国際理解教育・開発教育プログラム

グローバル化が進む現在、地球に暮らす私たちが自らの足元を見つめ直し、
日本を含めた国際社会が抱える課題に取り組むことが急務となっています。
また、日本の経済や社会の変化にともない、私たちの生活環境も大きく変わり、
外国につながる児童生徒も増加しています。
学習指導要領では「持続可能な社会の創り手」の育成がうたわれ、
多様な価値観・生活習慣をもつ人々と国内外で共存できるよう、児童生徒が互いの文化を理解し、
尊重し合い、違いを認められるなど、これからの社会で生きていくために
必要な資質・能力を育むことが求められています。
JICA中国は、長年の開発途上国での活動経験をもとに、世界の問題や日本との関わりをふまえた
国際協力について、知り・考えるための参加型プログラムを多数ご用意しています。
「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくりに、是非ご活用下さい。
なおJICA地球ひろばのウェブサイトでは、学校や地域でご活用頂ける情報がご覧頂けます。

詳しくは　国際協力について お役立ちサイト　で　検索

SDGsとESD

先進国を含む国際社会全体の目標として2015年の国連サミットで採択されたSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）。2030年までのこの目標を実現するには、ESD（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）の取り組みが不可欠であるとされています。JICA中国では、開発途上国での経験を活かしつつ、中国地方の特徴や課題も視野に入れ、様々な教育プログラムを通じてSDGsの達成に貢献できるよう取り組んでいます。

CONTENTS

異文化を知り、世界を学ぶ、先生たちのスタディツアー
教師海外研修―ルワンダ共和国― 03

学校で、教室で、すぐに使える手法が学べる
国際理解教育・開発教育教員セミナー 06

教室と世界をつなげます！
国際協力出前講座 07

来て、見て、触れて、世界について考えよう！
施設訪問「国際理解教室」 08

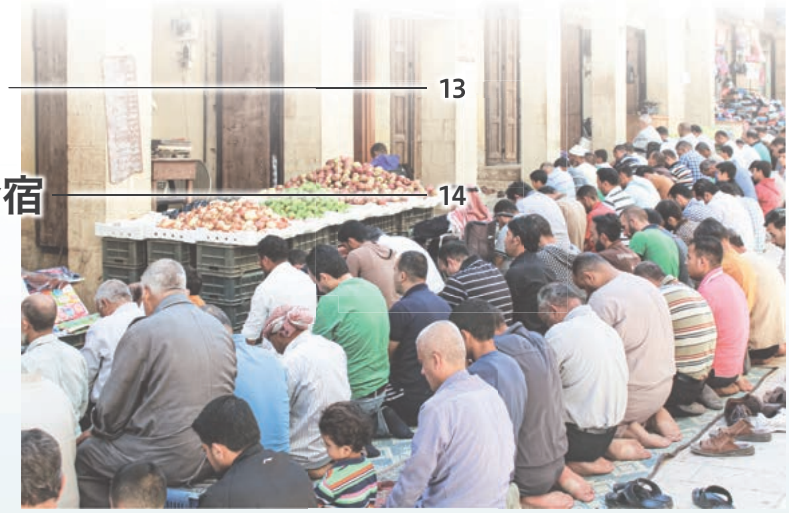
世界を知り、自分を見つめる２泊３日の異文化体験
高校生国際協力体験プログラム 09

衣服から世界を感じよう
民族衣装の貸出 11

教室で世界と出会ってみませんか？
研修員の学校訪問（幼稚園～高校） 12

キャンパスで世界と出会ってみませんか？
研修員の学校訪問（大学等） 13

地域で学び、国際協力をジブンゴト化しよう
大学生フィールドワーク合宿 14



JICA（ジャイカ）とは

JICA（独立行政法人国際協力機構）Japan International Cooperation Agency

日本の政府開発援助（ODA）の実施機関で、世界140ヵ国以上の国と地域、日本国内15ヶ所の国内拠点で開発途上国の課題解決に取り組んでいます。開発途上国が抱える問題の解決に対し、日本が持っているリソース（資金や機材、技術や経験、人材等）を活用し、よりよい国づくりに協力しています。JICAは、日本と開発途上国の「架け橋」となって国際協力事業に取り組んでいます。

異文化を知り、世界を学ぶ、先生たちのスタディツアー

JICA中国・四国　教師海外研修

ルワンダ共和国　8月8日(土)～18日(火)(予定)

(8月17日(月) 帰国・後泊)

国際理解教育や開発教育に関心のある中国・四国地方の先生方を対象に、国内の研修と国際協力の現場を訪問する海外研修を通して、開発途上国の現状や日本とのつながり、国際協力への理解を深め、その成果を学校や地域で児童生徒に還元していただくプログラムです。

応募資格

- 中国５県及び四国４県の国公立・私立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・高等専門学校・特別支援学校、専門学校の教員（講師含む）。
- 原則として、過去に本研修、JICAボランティア、JICA専門家、ODA民間モニター等、JICAから海外に派遣された経験のないこと。
- 参加にあたり、所属する学校の校長もしくは教頭の推薦が得られること。また、授業実践及びそれにかかる指導案・教材作成に管理職の理解を得られること。
- 授業やクラブ活動で国際理解教育、開発教育、ESDにつながる実践をしていること、または今後実践する予定があること。
- 授業実践の時間を一定程度確保できること。
- 本研修参加後に学校現場での継続的な実践に充分な勤続年数を有していること。

参加条件

- 海外研修だけでなく国内で実施される事前・事後研修および報告会等全日程に参加すること。
- 所定の期日内に報告書を提出すること。また、本研修の定めた期間内に所属校において授業実践を行えること。
- 今後、JICAが実施する開発教育支援事業やイベントにご協力いただけること。
- 本事業に関連して撮影された写真及び事業の結果、作成された著作物についてJICAが広報目的で使用することについて承諾すること。

※本研修は、参加者ご自身の研究やキャリア育成のための現地視察ではなく、子どもたちに開発途上国を理解し、日本とのつながりを考えてもらうため、研修での学びを継続的・長期的に授業等で還元して頂くことを目的としています。本趣旨を充分ご理解の上、ご応募ください。

1年間の研修の流れ

5月 応募締切

選考過程

5月15日㈮17時：応募締切
5月21日㈭：書類選考結果通知
5月25日㈪～6月１日㈪：JICAスタッフと対象者とのオンライン面談
6月11日㈭：最終結果通知

6月 国内事前研修

6月27日㈯～28日㈰　会場：岡山市内

国内事前研修では、JICAやODAについての知識に加え、訪問国の現状、開発課題等への理解を深めるとともに、現地研修での「視点」について考えます。また、研修後の授業立案に向けて国際理解教育・開発教育を実践するためのスキルアップを図ります。

8月 海外研修

8月8日㈯～18日㈫（予定）ルワンダ研修
（8月8日㈯午後 出発前オリエンテーション／8月17日㈪夜 帰国・後泊）

JICAプロジェクトサイト・JICA海外協力隊活動現場の訪問や、子どもとの交流など、授業実践や教材研究のための視察・活動を行います。

8月 国内事後研修

8月29日㈯～30日㈰

海外研修をふり返りながら、それぞれの情報や資料を共有します。今後、授業でどんな内容をどのように伝えていくか、アイディアを出し合いながら参加者全員で授業計画や教材開発を検討します。

9月～1月 授業実践

授業実践、校内での報告

それぞれの学校で国内・海外研修での学びを活かした授業を実践していただきます。また、校内や公民館での報告など、他の先生方や地域の方への発信も期待しています。

1月 報告書

2027年１月中旬　授業実践報告書の提出

報告会

2027年１月23日㈯～24日㈰

１日目は「海外研修で何を学び、どう授業に活かしたか」を参加者間で情報共有します。２日目は「その授業で子どもたちが何を学び、どんな変化が見られたのか」など国内外での研修の成果を一般の方に伝える、公開型の報告会を行います。

研修参加後は、所属校や地域で継続的に授業や活動を行い、中国・四国地方の国際教育・開発教育を推進する中核となって活躍していただきます。

参 加 費 用

●参加者自己負担

□パスポート取得費用　□予防接種料　□国内研修時の食費　□現地での宿泊費及び食費
□追加保険の加入費用　□その他私的な支出

●JICA負担

□国内研修時の交通費　□国内研修時の宿泊費（対象者のみ）
□出発空港までの往復交通費（宿泊を伴う場合は宿泊費）　□査証代　□国内、海外空港使用税
□往復渡航費　□海外旅行傷害保険費（JICA規定分）

募 集 人 数

12名程度

応募方法 および 応募締切

JICA中国ホームページから応募用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上、2026年５月15日(金)17時必着で郵送もしくはメールに添付で送付してください。

お問い合わせ・お申し込み先

JICA中国 市民参加協力課 開発教育支援事業担当
〒739-0046 広島県東広島市鏡山3丁目3-1
TEL：**082-421-6305**　E-mail：**jicacice@jica.go.jp**

選考 および 決定通知

選考は、提出書類と面談にて実施します。面談は、JICAスタッフが対象者とオンラインで実施します。
（応募者多数の場合、各県からの参加者数等も考慮します。）

報告書の提出

出発前報告書、現地研修報告書、授業実践報告書（所定様式）及びアンケートを指定の期日までに提出いただきます。
※報告書に関しては、冊子を作成しての関係機関への配布、ホームページへの掲載等一般公開予定です。

注 意 事 項

- 提出された応募書類は返却いたしません。
- 本事業は研修旅行であり、JICAにおける労災保険等の適用はありません。
- 所属先の業務出張扱いにて参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の業務上災害に対する補償措置を行ってください。
- JICAは出張命令依頼書等の発行を行いません。また、参加形態（職務専念義務免除、休暇など）は所属校や地域の教育委員会により異なり、JICAからの打診や提言はできかねます。
- 参加決定後、参加者本人及び所属先所属長宛に決定通知を送付します。
- 研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者に迷惑をかけたり、決められた活動に参加できない方については、国内研修中、海外研修中を問わず、研修対象者としての資格を失うことがあります。特に、海外研修中に研修対象者としての資格を失った場合、旅費・滞在費等に係るキャンセル料等は、当該者の全額負担となります。また、帰路の旅費も当該者の負担となりますのでご了承ください。

【後 援】外務省、文部科学省
鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、岡山県教育委員会、広島県教育委員会、山口県教育委員会、徳島県教育委員会、香川県教育委員会、愛媛県教育委員会、高知県教育委員会、岡山市教育委員会、広島市教育委員会　（予定）

詳細、応募用紙のダウンロードは
JICA中国 教師海外研修　で　検 索

学校で、教室で、すぐに使える手法が学べる

国際理解教育・開発教育教員セミナー

教室ですぐに実践できるアクティビティやワークショップを実際に体験しながら学べる参加型セミナーです。
開発教育ってなに？国際理解教育は英語の先生がやるもの？遠い国のことを子どもたちにどう伝えたら良いか分からない…。そんな疑問や悩みを持つ先生方、ぜひご参加ください。

※日程、会場、詳細は決まり次第JICA中国ウェブサイトでお知らせします。

対　象

教員、教員を目指す学生、テーマに関心のある方 どなたでも

参 加 費　無料

定　員　30名程度

こんな方にオススメ！

- 日々のクラス運営にちょっと悩んでいる…
- 子どもが主体的に関わる学びの雰囲気を大切にしたい！
- 探究的な学びに関心はあるけどどう始めたら良いか分からない…
- ファシリテーターの視点を、学校や教室で活かせたら…
- 同じ悩みを持っている先生とつながりたい！話したい!!

お問合せ

JICA中国　市民参加協力課　開発教育支援事業担当
TEL：082-421-6305　E-mail：jicacice@jica.go.jp

詳細は　JICA中国 国際理解教育・開発教育教員セミナー　で　検索

教室と世界をつなげます！

国際協力出前講座

開発途上国で国際協力に携わってきたJICA海外協力隊経験者やJICAスタッフが講師として、皆様のもとへおじゃまします。国際協力の現場で活躍した人材だからこそ伝えられる貴重な体験談やエピソードをお届けします！

活用方法

●総合的な学習（探究）の時間、地理総合、社会など
●英語、道徳など
●キャリア学習（国際協力の仕事とは）
●テーマ学習（文化祭や修学旅行の事前学習など）
●教員研修（参加型学習の手法など）
●市民講座（生涯学習など）

対　象

●小・中・高校・特別支援学校・大学、教育委員会などの教育機関
●一般・市民団体　等

お申込み～実施までの流れ

1. JICA中国ホームページ「国際協力出前講座」の申込フォームからお申し込みください。
※実施希望日の**約1ヶ月前**までにお申し込みください。
↓
2. JICA中国 国際協力出前講座担当より連絡、希望内容の聞きとり
↓
3. 講師の選定
↓
4. 講師と依頼元で内容や時間など詳細を調整
↓
5. 出前講座実施 → 6. アンケートを提出

内容・テーマ例

※詳しい内容はお問い合わせください。
※オンライン講座にも対応しています。
詳細はHPをご覧ください。

プログラム例
（出前講座レポート）

●JICA事業紹介・国際協力活動について
●JICA海外協力隊（青年海外協力隊など）の体験談
●開発途上国の生活や文化について
●国際協力という仕事・キャリアについて
●国際協力とSDGs
●国際協力におけるNGOの役割

費　用

●会場までの講師の交通費実費をご負担ください。
●謝金については、学校や自治体における講師謝金単価基準がある場合は、そちらに基づきご相談ください。単価基準がない場合は、目安としては一人当たり1時間5,100円（JICA規定に基づく・2026年5月改訂）です。
●これまで「JICA国際協力出前講座」を活用されたことのない学校等には、初回のみ無料で対応いたします。お気軽にお問い合わせください。

※原則として以下のケースは依頼をお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

●個人宅で実施するもの
●依頼者の事業収益、営業、拡販、宣伝等を目的としたもの
●依頼者の個人的な活動に基づくもの

お問合せ

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター内 JICA中国 国際協力出前講座担当
TEL：080-1643-4134　E-mail：kaihatsu@npoc.or.jp

詳細・申込フォームは　JICA中国　出前講座　で　検索

来て、見て、触れて、世界について考えよう！

JICA中国施設訪問「国際理解教室」

JICA中国を訪問し、開発途上国の暮らしや世界が抱える問題、国際協力について学べるプログラムです。地球規模の課題や多様な文化、世界と私たちの生活のつながりを知り、一人ひとりにできることを考えましょう！民族衣装の試着や楽器体験もできます。

こんな方にオススメ！

- JICAの活動を知りたい
- 世界の問題を考えたい
- 開発途上国の生活を知りたい
- 国際協力について知りたい
- 将来国際協力の現場で働きたい
- 国際協力とSDGsのつながりを知りたい

対　象

- 小・中・高校・特別支援学校・大学等の教育機関
- 一般・市民団体　等

プログラム（例）

※詳細はHPをご覧ください。
ご希望の内容や時間をお伺いした後、プログラムをご提案いたします。

①JICA事業について
②JICA海外協力隊の活動体験談
③世界の問題を考えるワークショップ
④エスニックランチバイキング（有料）
⑤民族衣装、楽器体験

プログラム例
（施設訪問レポート）

お申込みの方へ

- 費用：無料
- エスニックランチバイキングは11：30～14：00のみ利用可、小学生900円、大人（中学生以上）1,000円で事前申込みが必要です。
  ※アレルギー表示対応が必要な場合は、事前にお知らせください。尚、当日メニューの事前のご連絡はできかねますので、ご了承ください。
- 旅行会社を通じたご依頼の場合も、申込フォームの入力および内容に関するご相談は、必ず訪問する学校・団体の担当者様が直接ご対応ください。

お申込み～実施までの流れ

1. JICA中国ホームページ「施設訪問（国際理解教室）」の申込フォームからお申し込みください。
   ※実施希望日の**約1ヶ月前**までにお申し込みください。
2. JICA中国 施設訪問担当より連絡、希望内容の聞き取り
3. プログラムの作成、ご提案（場合により、依頼元と担当での打合せなど、詳細を調整）
4. 施設訪問実施
5. アンケートを提出

お問合せ

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター内 JICA中国 施設訪問「国際理解教室」担当
TEL：080-1643-4134　E-mail：kaihatsu@npoc.or.jp

詳細・申込フォームは　JICA中国　施設訪問　で　検索

世界を知り、自分を見つめる２泊３日の異文化体験

高校生国際協力体験プログラム

JICA中国に泊まりがけで（２泊）、世界の課題や現状に関する講義やワークショップ、アクションプランの作成などを通して、国際協力や自分に何ができるかを考えます。
一生忘れられない体験を！

2026年 7月24日(金)～7月26日(日)

会　場 JICA中国（広島県東広島市）　**定　員** 30名程度

プログラムの目的

- さまざまな国の状況、国際協力の現状を知り、理解を深める。
- 他県・他校の生徒や国際協力経験者と意見や想いを交換し、参加者自身が国際協力にどう向き合うかを考える。
- さまざまな生き方や経験に触れることで、自分自身の進路選択に役立てる。

プログラム例（2025年度プログラムより）※プログラムは変更になる場合があります。

■ １日目

13：30 － 開会・自己紹介
15：00 － 講義「国際協力って何だ？」
16：00 － ワークショップ「異文化を理解する」
18：00 － 夕食・県別での交流タイム

■ ２日目

9：00 － アクションプラン作成
「ユース版JICA海外協力隊！」
～JICA海外協力隊経験者へのヒアリング、課題抽出と整理、課題解決に向けて考える～
18：00 － 夕食・交流タイム

■ ３日目

9：00 － アクションプラン発表準備
10：50 － アクションプラン発表
13：00 － ふり返り
14：00 － 閉会式

参加条件

① 中国５県の高等学校に通学する現役高校生（引率不要）
② 初めての参加者を優先いたします。
③ １校につきご応募は生徒２名までとします。尚、多くの学校に参加していただくため、定員を超えた場合は担当者へ参加生徒の調整をお願いする場合があります。２名ご応募の場合、人数調整が発生する可能性があることから、予め２名の生徒間で優先順位をつけてお申込みください。
※宿泊は、２名１室での利用をお願いする場合があります。
④ 個人応募不可。必ず所属校からのお申込みをお願いいたします。

申込締切	６月11日（木）正午必着	参加決定通知	６月26日（金）までにメールにて連絡

お申込みに必要な情報

■ ご担当者情報（教職員）
氏名、学校名、学校住所、電話番号（連絡の取れるもの）、緊急時連絡先（当日必ず連絡が取れるもの）、Email（携帯メール不可／添付ファイルを受信できるもの）

■ 生徒情報
氏名、学校名、学年、性別

※上記情報をそろえて、申込フォームにアクセスしてください。

費用について

■ 参加生徒自己負担
・３日分の食事代　計4,000円
・往復交通費（JICAによる交通費負担はありません）
※JR西条駅またはJR東広島駅↔JICA中国の往復は無料送迎あり。

■ JICA負担
・宿泊費　※２泊分の朝食代含む
・保険料

※本プログラム修了者には参加証明書をお渡しいたします。進学先の入学試験などで使用する参加証明としてご利用ください。尚、JICA中国では「参加証明書」以外の書類は、個別にご依頼いただいても発行いたしかねますので、ご了承ください。大学の推薦入試などに必要な参加証明は各学校でご対応をお願いします。

申込締切は　6月11日(木)　正午必着です。

JICA中国HP「高校生国際協力体験プログラム」の申込フォームからお申込みください。

※ 例年、定員を超えるお申込みをいただいております。締切日時を過ぎてからのお申込みは受けかねますので、くれぐれもご注意ください。

お問合せ
特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター内
JICA中国　高校生国際協力体験プログラム担当
TEL：**080-1643-4134**　E-mail：**kaihatsu@npoc.or.jp**

【後 援】鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、岡山県教育委員会、広島県教育委員会、山口県教育委員会、岡山市教育委員会、広島市教育委員会　（予定）

詳細・申込フォームは　JICA中国 高校生プログラム　で　検索

衣服から世界を感じよう

民族衣装の貸出

JICA中国では、アジア、アフリカ、中南米など、開発途上国の民族衣装を貸し出しています。その地域ならではの素材、手触り、刺繍…触れることで、その国のイメージがどんどんふくらみます。国際理解教育の授業や異文化理解を目的とする学校行事（非営利のものに限る）にお役立てください。

貸し出しの流れ

1. JICA中国ホームページ「民族衣装の貸出」の申込フォームからお申し込みください。
   ※実施希望日の**2週間前**までにお申し込みください。
2. JICAより連絡
   ●貸出状況のご案内
   ●送付方法の確認（送料はご負担願います）
3. 貸　出
4. 返　却
   ●クリーニング後、依頼元負担で返送
   ●アンケートを添付（同封）してください。

貸出可能な教材

各国の民族衣装

貸出対象者

中国地方の教育機関

お問合せ

JICA中国 市民参加協力課 民族衣装貸出担当
TEL：082-421-6305　E-mail：jicacice@jica.go.jp

詳細・申込フォームは　JICA中国　民族衣装の貸出　**で　検索**

教室で世界と出会ってみませんか？

JICA中国　研修員の学校訪問（幼稚園～高校）

JICA中国では毎年様々な国から多くの研修員※を受け入れています。
児童・生徒、先生方が開発途上国や異文化に触れるきっかけとなるよう、またJICA研修員にとって日本の社会や学校教育を体験し、理解を深めるきっかけとなるよう、JICA研修員が中国地方の教育機関を訪問して直接交流する機会を提供しています。

※JICA研修員：開発途上国政府からの要請に基づき、日本で専門的な技術を学ぶために来日している開発途上国の行政官や技術者などです。数週間から１年未満で日本各地に滞在し、国別やテーマ別に学ぶ短期研修員と、日本の大学院の修士課程・博士課程で学ぶ長期研修員がいます。

お申込みの方へ

●対　象：中国５県の幼稚園・小・中・高・特別支援学校・中等教育学校・義務教育学校等
●費　用：無料。ただしプログラムによって必要となる経費（給食代、茶菓代、文房具、通訳傭上費など）は原則学校負担となります。

お申込み～実施までの流れ

1. JICA中国または各県の国際協力推進員にお問合せください。
2. 交流プログラム案のご提出（応募多数の場合は提案内容をもとに選考させていただきます）
3. 訪問校の決定・応募校へ可否のご連絡
4. 担当者と相談の上、内容の企画・調整、準備
5. 研修員の学校訪問、プログラム実施
6. アンケートを提出

お問合せ

JICA中国　市民参加協力課　研修員学校訪問担当
TEL：082-421-6305　E-mail：jicacice@jica.go.jp

詳細は　JICA中国 研修員の学校訪問　で　検索

キャンパスで世界と出会ってみませんか？

JICA中国　研修員の学校訪問（大学等）

大学（短大・高等専門学校・専門学校等を含む）を対象に、開発途上国出身のJICA研修員※がゼミやサークル等を訪問し、直接交流するプログラムです。海外に行くことが難しい学生も、JICA研修員の出身国の現状や課題、日本で学んでいること等について対話できます。JICA研修員にとっては、日本の大学生等との交流を通じて、日本の文化や教育について理解を深めるきっかけとなります。

※JICA研修員：開発途上国政府からの要請に基づき、日本で専門的な技術を学ぶために来日している開発途上国の行政官や技術者などです。数週間から１年未満で日本各地に滞在し、国別やテーマ別に学ぶ短期研修員と、日本の大学院の修士課程・博士課程で学ぶ長期研修員がいます。

お申込みの方へ

●対　象：中国５県の大学等（短期大学・高等専門学校・専門学校等を含む）。原則ゼミ単位（もしくは10人以上の有志のグループ）

●内　容：２時間～半日程度のプログラムをご提案ください。

●費　用：無料。ただしプログラムによって必要となる経費（昼食代、茶菓代、文房具、通訳傭上費など）は原則学校負担となります。

お申込み～実施までの流れ

1. JICA中国または各県の国際協力推進員にお問合せください。
2. 交流プログラム案のご提出（応募多数の場合は提案内容をもとに選考させていただきます）
3. 訪問校の決定・応募校へ可否のご連絡
4. 担当者と相談の上、内容の企画・調整、準備
5. 研修員の学校訪問、プログラム実施
6. アンケートを提出

お問合せ

JICA中国　市民参加協力課　研修員学校訪問担当
TEL：082-421-6305　E-mail：jicacice@jica.go.jp

詳細は　JICA中国 研修員の大学訪問　で　検索

地域で学び、国際協力をジブンゴト化しよう

大学生フィールドワーク合宿

国際協力に必要な「問題発見・調査分析（力）」、「総合マネジメント（力）」、「コミュニケーション（力）」を日本国内の現場で学ぶとともに、国内外で活躍する民間企業や国際協力関係者、JICA留学生や地域住民との意見交換を通して、Think globally, act locally を体験できます。今年度は①「国際協力×地方創生」、②「国際協力×教育」の２つのプログラムを実施します。
フィールドワーク合宿では、国際協力の視点・手法を用いて、地域の魅力発掘と共に地域課題を理解し、課題解決に向けたアクションを検討・実践します。

対　　象　中国５県在住または中国５県出身の大学生（短大、高専含む）、大学院生。国籍は問いませんが、日本語でプログラムに参加可能であること。

定　　員　①国際協力×地方創生　②国際協力×教育　各プログラム10名

期　　間　2026年８月～９月のうち10日間程度

合宿実施地域　中国５県の一地域

費用について

■ 参加者自己負担
- 合宿中の食事代
- 合宿地までの往復交通費

■ JICA負担
- 宿泊費
- 保険料

実施までの流れ（過年度の事例）

５月　オンライン説明会の実施

↓

７月上旬　応募〆切・選考　→　**７月中旬**　参加者確定

↓

開始前（参加者の予定を考慮して調整）　合格者オリエンテーション（１～２回）

↓

８月　フィールドワーク合宿（広島）　／　**９月**　フィールドワーク合宿（岡山）

お問合せ　JICA中国　市民参加協力課　大学生フィールドワーク担当
TEL：082-421-6305　E-mail：jicacice@jica.go.jp

詳細は　JICA中国 大学生フィールドワーク合宿　で　検索

あなたの街のJICAデスク（国際協力推進員）

「地域のJICAの窓口」として中国5県の7ヶ所に配置され、国際協力の相談に応じています。
国際協力について知りたい、国際理解教育について聞きたいなど、お気軽にお近くのJICAデスク（国際協力推進員）にご相談ください。

●鳥取県JICAデスク	（公財）鳥取県国際交流財団内	TEL.080-2934-8495	✉jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp
●島根県JICAデスク	（公財）しまね国際センター内	TEL.080-2934-8496	✉jicadpd-desk-shimaneken@jica.go.jp
●島根県海士町JICAデスク	海士町役場内	TEL.070-1369-5920	✉jicadpd_desk_amacho@jica.go.jp
●岡山県JICAデスク	（一財）岡山県国際交流協会内	TEL.080-2934-8497	✉jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp
●広島県JICAデスク	（公財）広島平和文化センター内	TEL.080-2934-8494	✉jica_hiroshima_desk@jica.go.jp
●山口県JICAデスク	（公財）山口県国際交流協会内	TEL.080-2934-8498	✉jicadpd-desk-yamaguchiken@jica.go.jp